

授業科目

試験評価と標準化

担当教員名 勝平 純司、高橋 義信	対象学年	4	対象学科	義肢
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○			

授業の概要

福祉機器・用具を選択するにあたり、安全な福祉機器・用具であるか否か検査・評価によって判断することは重要である。また、福祉用具は身体に密着して使用する者が多いため、他製品にも増して耐久性や安全性が重要になる。福祉用具の安全性確保のために、福祉用具に関するいろいろな「基準」を検証・評価する機関や国際規格、国内規格や英語の専門用語についても講義する。

授業の目的

福祉用具の安全性確保のために、福祉用具に関するいろいろな「基準」を検証・評価する機関や国際規格、国内規格について習得する。さらに、英語の専門用語に慣れる。

学習目標

1. 福祉機器・用具の安全性と安心感について説明できる。
2. 試験・認証について説明できる。
3. 福祉機器・用具関連ISO/JISについて説明できる。
4. 手動車いす・電動車いすJIS試験について説明できる。
5. 歩行器、つえJIS試験について説明できる。
6. 専門用語を英語で記述できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ガイダンス・福祉機器・用具の安全性と安心感	説明・講義と質疑応答、演習	勝平 純司
2	福祉機器の試験・認証	〃	高橋 義信
3	福祉機器・用具関連ISO/JIS	〃	高橋 義信
4	手動車いすJIS試験	〃	高橋 義信
5	電動車いすJIS試験	〃	高橋 義信
6	歩行器、つえJIS試験	〃	高橋 義信
7	達成度確認	〃	高橋 義信
8	自己点検・まとめ	〃	勝平 純司

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料	配布資料, ppt					

評価方法

レポート40%, 達成度確認試験30%, 学習態度30%

履修上の留意点

原則、欠席1回につき-2点、遅刻1回につき-1点を最終評価から減点する。また2回の遅刻で1回の欠席とする。問題解決能力だけでなく、課題発見能力にも力を入れるので、積極的に質疑応答へ参加するように。

オフィスアワー・連絡先

授業に関する質問等の連絡先については授業開始時に履修者にお知らせします。